

令和7年度タウンミーティング懇談録（荃崎）

日時：令和7年6月14日（土） 10:00～11:30

場所：ふれあいプラザ 多目的ホール

参加者：市長 ほか 参加者 33 名

<懇談録>

○参加者 1

あしび野の参加者 1 と申します。市長が掲げている主要施策 6 項目の中の 3 番目、頼れる福祉と書いてありますね。すべての人が自分らしくってさっき言ってましたね。その中で、高齢者、一人暮らし高齢者とか障害者のごみ出しの支援ですね。これ結論から言うとね、非常にこう、条件が厳しいんじゃないかという話なんですよ。要するに、要介護以上色々ありますよ。まあできれば、要支援でも適用されるようになったらいいなということなんです。ちょっとその関連話しますとね、最近区会に入ってもね、メリットがないから区会を脱退するんですよ。会費も払わない。それから区長とけんかしても関係ない。こういう人がいるんですよ。で、そうすると区長になんて言われるか、「ごみ出した？」って言われるんですよ。そうすると困っちゃって、環境整備課のほうに泣きつくわけですよ。そしたら、「いいですよ」と。「2 世帯以上集まれば、取りに行きますよ」と言うんですよ。それと比較すると、そちらは非常に柔かい。で今回のせつかくこう、作ってくれたやつがね、厳しいんじゃないかということなんですよ、一つ、御検討よろしく願いいたします。

●市長

ありがとうございます。ほんとに区長さん方の御苦労というのは大変だなと思いますし、御尽力に感謝をしています。そうなんです。ちょっと厳しいと私も思っています。思っていますが、最初スタートなので、いったいどれくらい来るかというのが、予測をするために、まず要介護にはさせていただきました。今募集をちょうどね、してこれから動き出していくところなので、そこで、申込状況等見たいなと思っています。ただ、おっしゃるとおりで、要支援の方の需要というのもあると思いますので、ここで一旦スタートはさせていただきましたけれども、ずっとこのままっていうのは全然思っていないし、改めてこういう御意見をいただきましたので、ちょっと運用しながら、できるだけ私としては拡充したいという思いを持っていますが、もうちょっと待っていて、いろいろ御相

談できればなと思います。

○参加者 1

わかりました、6月5日の木曜日にね、もうスタートしたらしいんですよ。それで、登録者、10世帯らしいんです。まだまだ市長が心配しているようにね、申込が溢れてどうしようもないという状況でないので、状況を見ながら、御判断よろしく願いいたします。

●市長

ありがとうございます。

○参加者 2

あしび野の参加者2と申します。私個人的な経験からですね、お願いがあるんですが、メーターの検針の件でございます。今メーター検針が、目視でメーターに打ち込んで請求するという恰好になっているそうなんですが、たまたまですね、4月から20%弱上がりました。それは前から広報で連絡のとおりでございますが、たまたまですね、検針の方がメーターを読み間違えて、従量で多い請求がございました。私仕事でですね、そういう関係だったのでちょっと今回量が多いなということで直にメーターを検針しました。そしたら検針が違ってました。それはですね、あり得ることだと思います。後日電話をしまして、こうだからこうしたらどうですかという私の提案を申し上げました。それでですね、今日ちょうどこの機会なので、市長に直訴したいと思います。今、水とか電気とかガスというのは基幹産業でほとんど独占的に行われていると思います。そういう意味では料金ではなくて、私は税金ではないかと思います。それで、ガスについてはですね、目視のところとそれからマイコンメーターで自動的に検針をするところもあるということでございます。それは日本ガスにちょっと確認しました。水道はですね、私のところとか自由が丘があるんですが、大体は目視検針が多いようです。それでですね、確認したんですが、将来はどうするんですか、スマートメーターに変えるんですかということをお願いしました。ただスマートメーターはちょうどお金がかかるということで検討はしてますということなんですが、スマートメーターに代わるなんか方法があるんじゃないかとそれもちょうとネットで調べましたが、やはりあの簡易的に自動的に検針をするメーターがあるそうです。それも含めてですね、将来は当然人口も増えますし、お金もかかりますから、将来こういう計画を進める意味で効率化を考えますと、将来はですね、人が検針する時代ではなかろうかということで、検針の自動化のほうをお願い

いしたいと思います。以上です。

●市長

ありがとうございます。検針ね、間違っ御迷惑をおかけして申し訳ありません。おっしゃるとおりで、人がこれから、どんどん働き手の少なくなる時代なんですよ、我々だからこそスーパーシティというので、人間がやらなくてもいいことは機械などにやってもらって、でもじゃあ検針員さんの仕事がなくなる、他にもやらなくちゃいけない仕事はたくさんありますから、決して仕事を奪うということではないと思うんですね。ですので、ちょっと今回そういう御提案をいただいたので、今、市でスマートメーターに全部転換してるみたいな計画はないんですが、御提案いただいたその簡易型でどんなことができるかとか、それで中期的には人件費と比べて設置費用がどうなのかとか、そんなことを中でちゃんと検討を一度してみたいなと思います。その上で、どんな検討結果になったかとかは御報告させていただく、よかったら後ですね、御連絡先いただければありがたいと、貴重な御提案ありがとうございます。

○参加者 3

初めて参加させていただきました高見原の参加者 3 と申します。2 点あるんですが、一点は、城山と高見原の保育所が統合されて民営化されたということですが、まあ実際に私の子供も通ってました。そこを卒園、卒所された先生が実際そこにも働いておられる非常に歴史のある所なんです、最終的には取り壊されるということで、そこをどうされる、今後の見通しと、それから例えば気持ち的にその地域の方々がそことお別れするのに、何か例えば、一定期間そこを取り壊す前に、みんながそこを訪れて懐かしむ機会とか何かそういうことも考えていただけたらいいなというのが一つと、もう一つは高見原の排水路があるんですが、そこが実際にはコンクリートで区画されていないために、隣接した土地からのこう、土砂が流れ込んでいて、それで排水路が機能しなくなって、実際にこの間雨が降っても全然流れていないとか、止まっているんですね。そこをなんとかしていただきたいなということで、資料を出して区長さん通じて窓口センターに出したんですね。実質的に却下されて。

●市長

すみません。いつ頃出していただいた？

○参加者 3

2か月くらい前じゃないかと。それで、実際は定例の草刈りで終わってしまっていて、市長さん自体に目が届いているかどうか、あるいは途中でもう切られているのか、それも含めて意見をお聞きしたいなと思ったんですけども。

●市長

ありがとうございます。まず保育所はですね、もう御案内行っているかと思いますが、耐震の問題が非常に大きくあってですね、耐震基準満たしていないということがあったので、それを民間にやっていただくような形にしていますが、跡地は個別にはまだ決めていませんので、これから場合によっては、まあ同じ場所っていうのはなかなか厳しいかもしれませんが、保育所として使えるのか、別の形になるのかというのはこれから地域の皆さんと御相談とか、公共施設の周囲とのニーズで決まってくるかなと思いますが、今お話あったようにね、記憶の、地域の大切な場所だというのはありますので、ちょっと開放しても子供向けの施設ですのだからなかなか大人が快適に過ごすという感じではないのと、あと、耐震基準満たしていないというのがそもそもの問題なので、あんまりこう、交流センター的に居場所というのは難しいような気がしますけれども、少なくとも、なんかこう、いきなり何もなくてガシャッと壊すのではなくて、まあ例えばね、一日二日そういう開放日を作るとか、そんなことはできるんじゃないかなと伺いながら思いましたので、何か考えたいと思いました。高見原のね、水の問題はもう長年この流れてきてる大元の方との御相談とかですね、しているんですが、まあ確かに根本的な解決には至っていないです。ちょっとその、今回御指摘いただいた場所が、どこなのかということにもよりますが、浚渫をして済む話なのか、やっぱりいつもどおりのこれまでの構造的な問題なのか、これ、区長のほうが詳しいかもしれませんが、ちょっと場所を確認して、どういう状況だったかというのを見てですね、何かできればと思いますので、また御連絡差し上げたいと思います。よろしいでしょうか、ありがとうございます。

○参加者 4

参加者 4 と申します。うちの玄関の前に消火栓があるんですけども、その消火栓の蓋、マンホールがついてるんですけど、地下へ水が浸透しなくてどうしても低くなりつつ、大きい場所など、水溜まりがかなり飛ぶんですね。学校の通学路にもなってるし、また、郵便受けのところで漏れて水がかかって見えなくなる。そういう状況が続いてますのでまたあの、去年の7月に直してもらった場所なんですけど、まだ工事前と同じような状況になっているので、再度ですね、御検討していただきたいなと思います。

●市長

ちょっと現地確認させますので、場所は後でお名前と住所をこちらに残していただければ。多分、工事の記録はあるでしょうから。すみません、御迷惑おかけします。

○参加者 5

森の里の参加者 5 と申します。市長を囲んでのタウンミーティングにはふさわしくないのかもしれませんが、またかと言われますけれども、我らあの、森の里というのはちょうど谷田川に住んでいまして、一昨年に越水がありました。あのときに、まあ色々検討されているということで、一応お話も伺いましたが、また、今年の夏もかなり大雨になるということで、住民としましては、ちょっと心配なところがまた出てきますので、その後、県の問題とは知っていますが、何かあのそういう要望が、こんな施策を今やっているんだということがありましたら教えていただきたいなと思って発言させていただきました。よろしくお願いします。

●市長

はい、これは、区長からもね、お話をいただいています、その、浸水想定区域の件まず御心配をおかけして申し訳ないなと思っています。なんか県に、まあこれも御説明しましたが、越水、一昨年の越水とは関係なく、もともと、令和元年の台風 19 号のときに、全国的に想定区域をきちんと見直すことになった結果、今回、森の里も入ってしまっているわけですが、対策は進めていくということはもちろんやっていくんですが、併せて、ちょうど森の里の越水した東側というんですかね、その箇所の方などもちょっと調整を今しているところですが、ちょっと現状どのへんでどうとあって県の対策とか我々のやるべき部分で、ちょうど今日危機管理課が来てくれて、なんか、県の動きとあってどこまでわかるの。

○危機管理課長

茨城県の竜ヶ崎工事事務所が管轄だと思うんですけども、今年の 4 月と 5 月にですね、私も危機管理課と、あと、道路関係の方でお話を聞いたんですけども、今ですね、越水対策の工事をですね、設計に向けて進めているということでした。ちょっと残念ながらまだ具体的な今後のスケジュール感というのが共有できる状態ではないそうで、もし、ちょっと詳しい状況を御確認したい場合は竜ヶ崎工事事務所の河川整備課の方まで直接お問い合わせいただきたいと思います。

う風にお話しをいただいております。あとはあの、越水後ですね、実際に行われた施策としましては、昨年の6月からですね、森の里の地先のところに河川の監視カメラのほうを設置されておりまして、そちらをもとにですね、ホームページ上で一般の方も皆さん、現状をご覧いただけるような状態になっておりますので、私どもとしても、そちらを活用させていただきながら、県と密に連絡を取らせていただいて、必要に応じた対策を講じていく形です。

●市長

ではこれから設計に入っていくけれども、設計時期はまだ未定ということですね。

○危機管理課長

そうですね、詳しい状況はまだあの情報共有をさせていただきます。

●市長

多分市で情報が入ってくるでしょうから、分かり次第、皆さんにちゃんとこの、設計の状況とかを御連絡はするようにはしましょう。

○危機管理課長

ちょっと市に直接共有されないものも多いので、できれば個別に竜ヶ崎工事事務所のほうにお問い合わせいただきたいという風に御担当の方からお話しを伺っています。

●市長

県がそう言ってるってことですね。市からじゃなくて住民の方から直接やってくれと言われてるってことですね。まあそういうことのようにではありますが、我々もできる範囲で間には入りながら、はい。

○参加者5

確かに県のほうの問題だということで、まあ直接連絡してということなんです、私はつくば市民なので、やっぱりつくば市のほうでですね、住民のことをですね、念頭においてそういう情報をですね、少なくとも区長に対してね、今こんな感じでやってるよっていうのを流してもらいたいと思います。またあのそれぞれが工事事務所に質問するとまた向こうも困るんじゃないかと、逆にね。だからそのへんのね、今のお言葉を聞いて大変冷たいなというのは感じました。

●市長

県がそうしてくれということなのですが、いや、お気持ちはそのとおりだと思うし、たしかにね、じゃあ森の里の住民が毎回毎回電話するのかってね、そのほうがちょっとあれだなと思いますけどね。ちょっとこちらでも状況把握して、やっぱりね、ちょっとこちらも把握したほうがいいでしょうから、設計されたらちゃんと教えてねというのを伝えておいて、連絡来なかったら、催促したりして分かり次第、区会の皆さんにお伝えするというほうがやっぱりいいかなと思いますので。バラバラと連絡するのもちよっとなんか不思議な感じがします。

○参加者 5

ぜひよろしくお願いします。

○参加者 6

森の里の参加者 6 と申します。よろしくお願いします。先日民生委員で川越市の高齢者や障害者の集うオアシスっていう施設を見てきたんですけども、それは、このつくば市にはないような複合的な施設だったんです。プールがある、体育館がある、デイサービスがある、お風呂がある、なんかあの、勉強するような研修室もたくさん備えていて、とても良い施設だったんですね。市長は、もう同じそういう施設を建てるつもりはないってさっきおっしゃってたんですけど、もし万が一、何か建てることのあるんだったら、そういう複合的なね、ものをちょっと考えていただきたいな。デイサービスがある高齢者施設って多分つくば市にはないと思うんですよね。併設している障害者の、まあそれがデイサービスっていうのかよくわかりませんが、障害者の方も集って、何か作業したり、勉強したりするそういう施設も揃っているそういう施設をもし万が一何かつくるときがあったらプールもあるし、体育館もあるしっていうことをちょっと考えてみていただきたいなと。

●市長

はい、ありがとうございます。あの、まったく一緒とは言えないんですが、実は今取り組んでいる荃崎老人福祉センターは、そういう場所になり得るよねということを思って構想しているんですよね。ここには元々もちろん老人福祉センターということになっていますけど、こっち側には昔でいう障害者のためのですね、福祉のセンターがあり、そして、だからこそこにお風呂を充実させてこっち側にはみんなが集える座敷があつてですね、調理場もあつてというので。プールはここにあるんですけど、ちょっとだから、アクセスの問題はありますけ

れども、すべて一体ではないですが、まさに、そういう機能でここ地域包括の相談なんかも例えばできて、いろんな人がそこに集まってきて、過ごせて、困ったことがあれば職員なんかに今後の不安とかですねということも含めて相談できるような、そういう居場所にしたいというので今回お風呂に投資をしていくことにしたんですね。ですので、まずここをですね、もう少し、今ちょっと老朽化も、写真を見てもわかるとおり、もちろん外壁、外というよりは中身のほうを充実させたいと思っているんですが、充実させることによって、今お話いただいたようなものの、部分的なことはまあまあカバーできるかなということは思っていますが、私自身そういう風にね、色んなものが複合的に絡まって色んな人が集える場所をつくりたいというのは常に思っていますので、できる限り御意見を踏まえるようなものをこれからも広げていきたいと思っています。ありがとうございます。

○参加者 7

森の里参加者 7 です。いつもお世話になっております。今日このタウンミーティングがあるということを皆さんに言いましたらですね、是非あなたから言って欲しいということですが、ちょっと私が 2 年前に電動自転車の、大変お世話になっております。今のところ乗りこなしております。

●市長

ありがとうございます。

○参加者 7

さらにですね、私にぜひお願いしてくれといった方がですね、実は相当あの、高齢でなおかつ身体障害がありまして、更にですね、電動シニアカーに対してもですね、かなり高額ではあるんですけども何か補助的なものを考えて欲しいということですね、是非出席するのであればお願いしてきてくれということですので、しときましたということで市長にですね、検討していただくように申し上げますということで言っておりますので。確かにですね、それともう一つですね、道路の整備ですね、やはりあの、電動のシニアカーで走るのにもですね、デコボコがあって大変なので、その辺をですね、併せて是非市長さんをお願いしてくれということですので、お伝えしておきましたのでよろしくお願いします。

●市長

御意見承りました。確かにシニアカーの補助というのは考えたことは今まで

なかったのですけれども、これは障害がある方だと福祉補装具とかの中で補助が入らないのかなあとちょっと思った、ちょっとちゃんと色々調べて、今、支援制度の枠組みが、うまくやればある気はするんですが、ちゃんと調べて、御連絡を差し上げます。併せて道路はね、ほんとに課題が常にあるんですけれども、順次、特に区長さん方から危険箇所と言われるような箇所から、なんとか1箇所ずつやっ払いこうとは思っていますので。個別に、「特にここ」というのをいただければ。全部綺麗にね、本当はしたいんですけど、なかなかそれも大変なので、一つずつやっ払いいきます。ありがとうございます。

○参加者 8

森の里の参加者 8 と申します。私の方から一つなんですけれども、ごみ処理の問題ですけれども、団地内には 34 ヶ所の集積所がありまして、今、だいぶ綺麗にはやっ払いつもりなんです、ごみ処理では持っ払いいけないごみ、特に、混雑して、いろんなビンとかカンとかですね、そういうものについて今までもずっと我々がそれを、公会堂まで持っ払いきて、それを分別してですね、ごみをそのまま出せる日に出してたんですけども、その袋なんかにみんな、いろんなこれは収容できませんとか、黄色い紙がね、市の方ではほら、集めませんからって貼っ払いあるんですけれども。いやあっても、それは、今まで我々がそれを集めて、それでそういう分別できるときには出してたんですけどもね、まあ我々もだいぶ歳もね、取っ払いきましてできなくなったんで、そういう風な貼っ払いあるごみについてはね、これは市の方でやっ払いもらわないとですね、どうにもなんないようなところまで来ております。現実には、カンにしるビンにしる大体、みんな我々が集めてですね、迷惑かかんないようにしてるんですけどね、ちょっとそれもですね、歳がいつるることからだんだんね、できなくなっ払いきてるんで、そういうふうな業者のほうで収容できない、そういう札が貼っ払いあるものをですね、どうにか集めてもらっ払いやっ払いもらえればいいなと思っ払いしております。

●市長

そうですね。いや私も、昔区長をやっ払いいたり、班長やっ払いとかっ払いいう中で、まあ私のところ、そんなに数は多くないですけど、やっ払いぱり、たまにそういうことが起きたりはして、おっ払いしゃるとおりですよ。ちょっとどんな形があるか考えなくちゃいけないと思っ払いますけど、確かに全部を、もちろん区会の皆さんにやっ払いいただけたところはおっ払いしいたいんですが、ただ結局それっ払い、出す側のモラルで決まっ払いしてしまうのでいつまでもずっとそういうことが起き続けたるっ払いいうんであれば、悩ましいですね。何か、どうしたらいいかなあ。全部

回収したら結局、全然分別されずにバンバン出されちゃうっていうのもまあよくないなとも思いますし、本当は分別をもっとやってもらうために、なんか横浜市なんかだともう職員総出で毎朝、声かけをして混ざってないですかっていうのを、めちゃくちゃやりまくった結果ちゃんと分別されるようになったらしいんですが、それはそれで、大変だよなというのはちょっと思っているんですが。少し、確かに今の仕組みは持続可能じゃないなというか、何かフリーライダーが、ただ皆さんに苦勞を押し付けるような状況になっちゃってるということもあるなと思いましたので、どれぐらいちなみにありますか、1年間で区会の中で。

○参加者 8

毎週ですね、毎週そういうごみはありますけれども、その次ごみが収集来る前にですね、みんな集めてきて、それを分別してね。

●市長

いつも同じ集積所ですか？その、要は特定の人がいつもやっているのか。

○参加者 8

それがですね、これはもうわかっててやってるようなね。

●市長

それはちょっと個別にむしろそこに立ってて注意するしか、つくば市役所職員がですね。とかしないとだめかなあ。

○参加者 8

福島なんかでは条例を作ったりですね、あとは水戸市かどっかでは罰金じゃないんですけどそのごみで、その袋を開けて、その開けた分で、その業者にですね、分別させるとかと色んな方法があるみたいなんですけども、ただ我々としてもね、今我々こうやって自治会の役員としてやってますけれどもね、我々もずっとこれやってるわけじゃなんで、そういう点でどのようにするのが一番いいのかっていうのを我々は。

●市長

ありがとうございます。中でも相談してみますし、むしろそういうのやっていただかないで、溜めていくとその悪い人はどうする、悪い人って言ったらあれですけど、どういう行動でそれでも、どんどん積み続けるのかな、とかですね、ちょっと逆にもしわかってるなら、個別に注意をパトロール関係でしていくとか

っていうのも考えられる、また御相談させてください。ありがとうございます。

○参加者 9

宝陽台の参加者 9 と申します。宝陽台は御存知のように、牛久に隣接してまして、生活圈も牛久、駅も牛久なので、当初は牛久に合併されたらよかったなと思ったんですけど、現状を考えますと非常につくば市もいろいろ、市長が代わってからですね、前は、荃崎はつくば市の南端と言われまして、非常に冷たい扱いで来たんですが、最近、非常に荃崎も良くなってきてます。本当につくば市に合併されてよかったと思ってます。それでですね、いろいろ先ほど市長の説明にもあったんですけども、旧保健センターの改修、ありがとうございます。これもですね、当初は、全面改修というか全面更地にして、新しく建て直すという、計画だったんですが、それもいろいろな事情にあって、リニューアルっていうか、リフォームという形になったんですが、何か聞くとところによるとですね、エレベーターがつかないという話を聞いております。これはですね、もう本当住民っていうか、障害者とか、私たち高齢者にとって切なる願いなんですね。外付けで結構ですので、エレベーターを是非つけて欲しいというのがお願いでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

●市長

はい。エレベーターもですね、当初もですが、まず利用できるようにしようというので期間とコストで一旦これでやらせていただくことにはしてるんですが、実は最近いろいろ調べたり、色んな新しい情報もらったりして、外付けにするとその躯体全体の構造の問題とかが出て来る、中には場所がないみたいな課題があったんですけど、何か最近の本当に新しい技術だと、その外付けで、躯体全体の強度とかを、影響しない独自の工法があってそういうのが他の自治体で出始めてるそうなんですね。ですので、そういうのであれば、何らか、できるんじゃないかなっていうのを、実はこの間まさに考えていたところでした。ちょっと、すぐやるということはお伝えできないんですけども、確かに今階段が大変という方の声はたくさんありますので、まずこれでスタートはさせていただくんですが、このちょっと工法をいろいろ調べて、何かね、あるみたいなんです。すごくいい仕組みが。だから、今考えたいと思っています。

○参加者 9

JR なんかは外付けで後付で、かなりほとんど今、JR の駅はエレベーター取り付けてありますけど、ああいう形で取り付けられれば、躯体に関係なくね、そう

いう新しい方法があると思いますので、ぜひ検討いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○参加者 10

森の里の参加者 10 です。単純な問題 2 つ。ほんとに単純ですね。一つは空き家の問題で、火事の後そのまんま 3 年間放置してあるんですよね。私いつもそこを通るんですが、ツタが生えたりなんかして、本当に悲しい現場。ということでまあ、市長さんに言っても、ダメだと思いますが、市長さんを頼るほかないですね、やっぱね。その空き家の問題は、火事の空き家ですから、なかなか、見て、悲しいですよね。それが一つと、もう一つ、この間、ねんりんスポーツ大会で、6 月 4 日、市長さんに、80 歳以上は条件なしにタクシー券ありますよということで、窓口センターに喜んで行ったんですよ。行って、書類書いていって最後に、車運転してる、って項目があったんですよね。いや、車運転してちゃダメですよと、こういうことだったんですよね。で、車を運転、免許ありますかって言ったらあります。じゃあ車を運転しますかと、じゃあ運転しますと言って、運転しなかったらいいのかね、と聞いたら、いや、それはということで、市役所さんに聞いてもらったんですよ。やっぱり、車運転する方はダメだということで。

●市長

すみません、言葉足らずで。

○参加者 10

違ったことありましたからよろしくお願いします。

●市長

はい。まずちょっと空き家の件ですけど、所有者の方はもうじゃあそこには前からいらっしゃらなかったんですか、それとも、火事になってからいらっしゃらなかったんですか。

○参加者 10

火事の後ね、やっぱり誰もいないんですよね。親族の方がいない、多分いないと思うんですよ。森の里の。

●市長

ちょっともし、倒壊の危険性があるとかになってくると、市として。

○参加者 10

そういうことはまだないです。見て、非常に悲しいですよ、やっぱりね。ツタが生えたり、窓が開けっぱなしになったり、屋根が抜けてるし、そのまんまになってますよね。その辺を市長さんに言っても、ダメかと思いますが。

●市長

あの、出来るだけ前向きな答えは常にしたいと思っているのですが、なかなかちょっと今パッと思いつくアイデアがないというか、今の制度上だと確かにそれは所有者の方に何とかやっていただくしかないというのが、すみません。ちょっと何かそういうケースでできることがあるのかないのか。

○参加者 10

じゃあそれ、わかりました。じゃああの、タクシーの方は。

●市長

タクシーの方はすみません言葉足らずで。運転しないのは、なんかあまりにも前提のつもりでこう、条件出していってしまったんですが、確かに今の条件には、入ってはおります。おりますが、そうですよね。だからまあ、そうですね。

○参加者 10

それはわかりました。前提があればね、ただ前提がなしに OK ですよという話聞いたもんで。

●市長

はいこれから気をつけます。ちょっと必ず言うようにします。車を運転しない方は、ということの説明を適宜必ず言うように、大変失礼いたしました。

○参加者 11

荃崎の梅ヶ丘というところの参加者 11 と申します。よろしくお願いします。先ほどから市長さんからお話があった相談窓口のことですが、私、実際にまだ現役で働いている身なんですが、それ先ほどお話しいただいた荃崎の交流センターの所長さんの方にはよくしていただいて、迅速な対応でね、とても感謝しております。公園のフェンスの補修であるとか、団地内の止まれの表示だとか、迅速に対応していただいて、すごくありがたく思っております。それを踏まえての

要望なんです、受付の時間についてなんです。こちら月曜からすべてのところ開いているとは思いますが、受付業務に関しては、月曜日から金曜日だけですかね、職員の方がいらっしゃらないと、土曜日は窓口が開いていても、職員がいる月曜日から金曜日のときに来てくださってというようなことの対応ですね。ですので、毎週土日のね、どちらかとは言いませんので、隔週でもいいので土日のね、いずれか窓口業務、やっていただければ、現役で働いている私みたいなものが、地域の要望ですねそちらに伝えることが可能なかなってというのは思います。それで月曜日から金曜日のところ1日お休みがあっても、私個人的にですよ、いいと思うんですよ。その1回の休みを違うところにずらすことによって皆さんも実際今の行政サービスの一環として、土曜日本来だったらお休みだと思うんですが、こういったときに来てるっていうことがあると、まあそれはちょっと可能なかなと思いますので、そのあたりの御意見ですね、市長さんの御意見をお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

●市長

ありがとうございます。なるほどそうですね。おっしゃることはそのとおりだなと思いつつですね、今実は市役所でもどちらかというと、やっぱり土日の窓口は、縮小していくような動きでは、本体でもやっていて、それは職員の働き方をできるだけこうやって、なかなか平日に代わりに休みをとるからというので、きつくなってきてるというのが現状だと思っているんですが、聞きながら思ったのは、要するに、土日だとシルバーの皆さんなどにやっていただいている、職員じゃないから、市役所のことはあんまりわからないんですけども、例えばですよ、一応、一応というのはよくないな、シルバーの皆さんにちょっと負荷がかかるというか、概要お話を例えばいただいて、そこでメモをとって、その後、職員から、例えば平日にお電話をして伺うとかだとちょっと大変ですかね。より詳細を、受付としては、一旦そこで受付をさせていただいて。

○参加者 11

そうですね、そういうのが可能だったらそれでもね、いいかと思うんですが、その時の対応のパターンの問題なのかもしれませんけど、受付業務は月曜日から金曜日までについていうようなことだったんで、その代用の今、市長がおっしゃったそのような受付を、受けることもちょっとできなかったのも、そのあたりのあの制度的なものなのか、個人的な範疇での出来事なのか、ちょっと私思慮しかねるんですが。

●市長

一応シルバーさんであつたりお願いしてる皆さんには受付業務のことは基本お願いしていないのでまあできませんとはなってしまう。どう思います？

○市民部次長

市民部で次長兼統括地域支援監をしております。ただいまの御質問なんですけれども、職員のほうは月曜日から金曜日までの定時ということになっておりまして、土日は委託の業者の方に管理をしていただいております。必ずしもですね交流センターのほうに来ていただいて相談をしていただくということではなくて、電話での御相談も受け付けておりますので、平日、もしお時間がありましたら、交流センターの方に電話していただければ、担当がベテランの担当取り揃えておりますので、電話でまず相談をいただいて、もし現地の確認が必要な場合には区長さんの方と調整の上ですね、現場を確認するとかっていう対応も取れますので、まずお電話をしていただければ、すぐ対応をしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

●市長

大丈夫ですか。いやなんか場所とかね、電話だけだと結構難しい案件が多いような気がちょっとしたんですよね。だから、多分対面でこことかって、最初はやっぱりちゃんいけないのかなっていうのがあって。そこから先は多分電話でいけるとは思うんですけど。

○市民部次長

一応、まず平日電話していただければ、大体電話で場所等もですね、お教えていただければ、住宅地図等で確認しながら、職員のほうが対応させていただきたいと思いますので、現状、すみませんそういう形でよろしくお願ひします。

●市長

じゃあもう、平日の電話のほうが、週末の委託業者さんにちょっと追加のお願いするよりもいいってことですか、引き継ぎの問題も。一旦ちょっと、お電話でちょっと試していただいて、やっぱこれじゃ、らちが明かないよということであればまたじゃあ御相談させていただいて。

○参加者 11

実際ですね、電話もしたこともあって、窓口から各部署に電話してくれるんですね、例えば公園のフェンスだったらどこどこ、私はちょっとわからないですけど、ペイントだったらそちらということで、電話がかかってくるようになってい

るんですが、実際にかかってこない部署もありますし、やはり電話の対応が、私の受ける印象が変なのかも知れないですけど、やっぱり電話だとやっぱりちょっとなかなかニュアンスが通じづらいかなっていうのもあるんですよね。なんかあからさまに「ああ面倒くさいな」みたいな感じで対応があったりとか、私の穿った見方なのかもしれませんが、窓口業務の方はすごい親切丁寧にやってくださってるので、まあそういったところは住民としては望むというところなんですよ。まあ今おっしゃるそのルーティーンのやり方は理解できましたけど、そこではない何かが、やっぱり地域とのつながりなのかなってというのが私個人的には思ってますので、そういうところですよ。

●市長

わかりました、ありがとうございます。あの、面倒くさがってはいないとは思いますが、そういう思いを抱かれないようにちょっと、ちゃんと、そういう際の連絡については注意するように改めて。一旦、一旦ごめんなさい、電話でやらせていただいて、また御相談させてください。

○参加者 12

市長には、事前に質問書を送らせていただいているんですけども、改めて質問で、私介護タクシーをやっているとして、居宅、家から玄関に出ることが大変な方ってというのが、現実において、そこに対する、実際私が支援をして、これは、市と一緒に連携しなくちゃいけないと、何年も前から言い続けていることなんですけれども、その中で、実際に先日、要介護5、全介助の方、その御家族からメールをいただいたことをちょっと御家族に了承を得て、ちょっと自分のことを思ってちょっと聞いていただきたいんですけども、「先日、夫、6月10日に永眠いたしました。ここに生前の御厚情に深く御礼申し上げます。参加者12さんがいてくださったことで、私たち家族がどれだけ支えられていたことか、感謝してもしきれません。夫も参加者12さんには、安心して、体を預けていられると言っておりました。体調の波があっても、車椅子を何とかフラットにできないかと、試行錯誤してくださったことも、安心感に繋がりました。夫が大好きな、焼肉に行けたこと、子供の発表会に行けたこと、本当に良い思い出です。」私のやっтерことを別に称賛するとかではなくて、事実としてそういう方がいて、真摯に、私はそういう方を対応したいと思ってやっています。ただ、介護タクシーは高い。自費だと、どうしても高くなってしまふ、支援がないもんですから、どうしても高くなってしまふ。1回の、例えば通院で5千円、1万円かかってしまふっていうのも結構ざらではないと思います。往復だったら1万、2万で簡単

に行ってしまう。その通院日数が多ければ多いほどその御家族には負担にかかってしまう。そういったことも踏まえて、介護タクシーっていうのはすごい誰でもできるっちゃ誰でもできる、運転するだけなら。でも、居室から出ることは大変な方、26万人のつくば市の人口からすれば、ほんの数パーセント、数パーセントでももっと低いかもしれないですね。でもそういう方がいる、そこに対応しなくちゃいけないっていうところを事実を、やっぱりこう一緒に、一緒にやっていきたい。もう私1人どうこうでもないし、今私は、この現状続いて、やっていったら逆にもうやりきれないなという、実際に感じているので、だからその、何がいいかって何とも言えないんですけれども、例えばつくタクの介護タクシー版みたいな、そういったことをいろいろ考えて実践することができると思うので、それはもう何年も、去年もまたこの場で、市長に意見出しましたけれども、やっぱりその、やっていきたいと思いますということを改めてお伝えしたいと。で、高齢福祉課の窓口の皆さんってのはすごく真摯に対応してくださってます。そこはすごくありがたいとは思ってはいるんですけれども、市長の今までの広報紙とかいろんな、政策とか見ても、そこに対する、何かが見えない。やっぱ本気で何とかしようっていうのが、私には感じられないので、やっぱり一緒に、市長がトップに立ってじゃないけども、実際現場でやるのは現場の人間なんで、でもやっぱりそこを知って何とかしようっていうのを、ぜひ、いただきたいと思います。

●市長

ありがとうございます。毎年参加者12さん、お話をいただいて、こうやって御尽力いただいたことに感謝をしています。去年もアンケートというお話をいただいてアンケート実際実施をさせていただきました。そういう中で、事業者の皆さんの声などを伺って、そして参加者12さんもね、いろいろその担当課とお話をさせていただいてるという報告も受けています。そういう中で本当どうするのがいいのかなというのは、悩ましいと思っていて、今、結局、介護保険の枠組の中でやられている介護保険のタクシーの事業者さんがすごくたくさん増えているという現状はあるなと思っているんですよね。ですので、なんかこう行政としては基本的にはその、保険制度とかがあるもの、そういう制度を作っている中で、それを使っていただくということが、なんていうか、前提となるのかなあというのは思っていて、ですので、参加者12さんのように保険外で頑張ってくださっている皆様に対してどうアプローチを、どうするのがいいだろうなというのは、本当に悩ましいと言えば悩ましいですよね。どうするのがいいのかなと思っています。

○参加者 12

今言った、介護保険を使った話っていうのは、あくまで介護保険の枠内っていうよりも、訪問介護をまずしなくちゃいけない。実際のところ、じゃそこが訪問介護やってるのかっていうところになるので、私そこは懐疑的に見えています。その介護保険タクシーっていうよりも、ただ、ヘルパーさんが移送しているだけ、運転しているだけ、実際介護保険として、訪問介護やってないのに、何かタクシーとかってやってるだけ、実際やってはいけないんじゃないか、やってはいけないことをやっているという風に捉えています。それは事実今は別として、そこから介護保険タクシーを利用できない方が、結局保険が自費で、そこに行くしかなくなっちゃったときに、その方は、介護保険使えば安くなるのに自費だから高くなっちゃったっていうそういう、不公平感っていうのも実際ある。なので、そこら辺はもう、もっと福祉有償運送だったりとかいろんな今、やっていると思うんですけども、そういうのを一回置いておいて、障害者だったり、要介護の方だったりとかを踏まえたもう本当に、介助がないと外に出られないっていう人に対する枠組はもう、介護保険とかもう置いて、つくば市として、作るっていうのもありなんじゃないか、そうしていけば、全国に先駆けてじゃないですけど例えば茎崎地区なんか高齢化が進んでいると思います。やっぱり実際対応している方もいるので、そこに対して、優しい、移送において安心できるっていうのであれば、シニアカーとかじゃなくて、もっと安心してどこかにおけるっていう仕組みが作れるんじゃないか、それはだから、一緒に考えていきましょうということですね。

●市長

ありがとうございます。気持ちはわかりましたが、そうですね。どうしてもやっぱり介護保険という制度でなければ、もう財源が、全部市から出すことになってしまいますので、それはすごく、中長期的に見たら、ちょっと続けられないぐらいのものになってしまうようなことは考えなくちゃいけないと思うので、だからこそ、我々、今ある制度は、結局国のお金が入ってきたり県のお金が入ってきて市も出してというようなことができるので、どうしてもそちら中心になってしまうというのはあるのと、介護事業者の今の皆さんがちゃんとやってないかっていうのは、それは、ちょっと私は、そのまま受け止めることはなかなかできないですけども、もちろん、そういう実態など、もう少し確認はしていく必要があるかなと思っていますが、色んな事業者さんも、事業者さんなりに頑張ってくださっているなという思いはありますが、そういうことも含めて今お話しいただいたこと。どんなことできるかは、考えなくちゃなと思います。あんまり、すみません。やりますというようなことは。

○参加者 12

共にですよ。市長、共に。

●市長

はい。なんかね。ちょっと、どんなことがあるかっていうのは考えてみたいと思います。

○参加者 13

よろしくお願いします。高見原の参加者 13 といいます。普段は教育の研究や絵本作家をしていまして、全国の保育現場とか教育現場で、子供の主体性とか、その重要性っていうことで、講座をやっているのを生業にしています。そんな中でこの今日、つくば市の教育大綱を読んで感動しまして、ちょうど我が子です、今度小学校 1 年生になったので、こんなに素晴らしいのかと思って、授業参観に行ったんですが、愕然としまして、先生たちはもちろん、子供たちのために、とっても想って頑張ってくれてると思うんですが、やっぱりこの市長が掲げてくださった、教育大綱等と現場の教育のギャップがものすごいなということを感じまして、それについてコミュニティスクールなども、いろいろ集まってくるとは思うんですが、この学校現場の先生たちと、この教育大綱のギャップをどんなふうに具体的に、もしこれが解決できたらすごいことだと思うので。それについて、お話しできればと思います。

●市長

おっしゃるとおりだと思っています。ギャップは、すごく、まだまだ理想には私はほど遠い状況だということを教育長なんかとよく話をしてて、10 点満点中、目標としたら何点って話もしてるんですけど。今具体的にやってることは、指導主事という先生方がいて、その教育委員会に、県の職員なんですが、市の教育委員会に来てもらって、訪問をするんですね。今までの、学校の訪問とか指導のあり方というのが、それこそ昭和からずっと同じやり方で、何か授業ちらちらと見て、コメントわーっと言って、去っていくみたいな。全然それこそ、子供の学びと違うじゃんっていう。だから先生たちの学びと子供の学びが相似系、同じ形だと言うのは、もうこれはよく言われることですが、子供が新しい学びをしようとしてるのに、先生たちの学びの仕方が、今までと同じじゃ変わるわけないよねというので、その学校の訪問の形を根本から今変えてもらっています。どんな授業やりたいのとか、というのを事前にいろいろ壁打ちをして、相談をして、

新しい授業をじゃあ、こんな風にして、そのあとまた振り返ってどうだったとかですね。偉い先生がわーっと言う仕組みから、ガラッと変えたのが、変え始めたのが、去年からです。これは非常に学校の先生たちには好評です。ただ、その指導を受けている、指導というかその新しい形にしたのはまだ全体には行き届いていないので、ご覧の授業参観になったような形のことが展開されてしまっていると思っていますので、今まさにそこをですね、指導主事の関わり方を、もう根本から変えて、そしてそこに、今軽井沢でインターナショナルスクールを立ち上げたチームの皆さんがずっと伴走をしてくれて、入るようになってですね、その人たちと一緒にまさにその学校訪問なんかもやっているのです、これも一気にまた変わるわけじゃないですけども、順番に学びの形を変えていくというのは今まさにやっているところですので、すみません、がっかりさせて申し訳なかったですけども、課題として認識してますし、そういう風に変えていこうと思っています。

○参加者 13

ありがとうございます。まさに、なんかそういう応援チームみたいなものが、あったらいいなと思っていたので、頑張っって欲しいなというのと、ぜひ僕自身も、もう協力ができることがあれば、是非是非ということで、御一緒できればと思います。

○参加者 14

上岩崎の参加者 14 です。いろいろ高齢者たちのありがとうございます。今日は観光のことでちょっとだけいづつか。市内の観光っていうと、筑波山と牛久沼。それで、現実に沼というわけじゃないですけど、その上の泊崎の憩いの家が、しばらくの間、空き家同然になってて、やっとならば2月春ごろですか、壊していただいて、更地になりました。それで、よく上の弘法様の神社にいと、結構お参りに来る人がいて、どっから来たんですかっていうと、長野ですよとか、どうして長野からって聞くと大体筑波大の、生徒さんがいて、子供がいるんでこっちの方がいいからっていう話を聞いて来てるというような話が、何回かそんな感じの話を受けました。それで、それはそれとして、憩いの家を壊した跡地なんですけど、今、芝生公園にするんだっていうような話も聞きますし、これから、あれを、あの土地を結構利用して、何らかの形でもう少し、例えば、ベンチを置いて何かちょっとこう動くとか簡単なことで結構なんですけど、だんだんに考えていただければありがたいなと思います。よろしくお願いします。

●市長

はい、ありがとうございます。あそこ、地区の皆さんといろんな御相談を重ねて、今の水場はあった方がいいとか、そういう御要望を1個ずつ聞きながら、ベンチもつけ、まだついてないですかね、ベンチはつけるはずですよ。はい。だと思ってます。ほかにも、アジサイをどうするとかいろんな御提案頂いているので、そういうのをまさに地域の皆さんと一緒に作っていったらいいと思うし、何しろロケーション最高ですから。いろんな人に知ってもらえるように、ちょっと頑張っていきたいと思います。これからは何か御提案いただければと思いますので、よろしくお願いします。

○参加者 15

今日初めて来たもので、高見原の参加者 15 といいます。さっきの小学校の話ですけど、自分の小学校出た、卒業した小中学校、第一小学校ですか、と中学校の先生さんには今、自分仕事が見つかるまでは一応見守り、自主的にやって、そのときにちょっと危ないことがあって、子供がひかれそうになって、そういう話を、一応中学校の先生に1回話しに行ったら、それから今、小中学校の先生同士で今連携をとってもらうように、話してもらってやってもらっているんですけども、4月ごろに、コンビニに包丁が落ちてたので1回、荃崎交番の方に報告行って、それからなんですけど、今思ったこともあって、小学校の中に児童クラブあるじゃないですか、あれでもし事件が起きちゃったときには、どうなるのかなとは思ったんですよ。小中、小学校だとほら、門が開いてたりもするんで。一応小学校の先生に確認したんですけどやっぱり、そっちはそっち側だし、小学校は小学校側だから問題が起きちゃったときにはどうなるのかなと思っちゃったりもして。

●市長

児童館で何か起きた時にということですね？

○参加者 15

そう、一緒の学校の中にあるので、その時に、そうやって包丁を見つけてあったわけで、もしそういうことで事件が起きちゃったら、どっちの責任になっちゃうのかなと思ったりもして、けどやっぱり小学校は小学校の理由がありますし、向こう側は向こう側の、だから防犯カメラとかつけてみたらいいんじゃないですかとは一応小学校の先生には提案してみたんですけど。それも、そういうのもあったりして。

●市長

御質問をいただいても大丈夫ですか。

○参加者 15

質問だと、だから、アフタースクールもありますけど、小一の壁ってあるじゃないですか、あれを朝方ってやったりできるんですか。

●市長

ちょうど、今度アフタースクール、小規模特認校とかですね、は、これ全市域から来ることになるので、朝もそこで少し預かれるように、これは要するに、親御さんが送迎をして、谷田部南小と栗原小は来ることになるので、そこで少し早い時間から預かれるような仕組みは、作る必要あるよねということで、来年の4月からは、その小規模特認校はやろうと思っています。なかなか全域に、それをやるっていうのは、難しいんですけども、そんなことやっていきたいなと思っています。セキュリティの面などは、これはもうそれぞれの場所で、万全にしないでちゃいけないですし、防犯カメラも、今学校でも、基本学校につけていってると思いますが、もし今の話で茎崎第一小、つけてないのかな、つけてないことはないはずなのですが、ちょっと確認をしてですね、もしつけてないようであればちゃんと皆さんね、働いてくださる皆さんにも安心してもらえるような環境を作っていきたいと思いますので是非、よろしくお願いします。

○参加者 16

時間がもうギリギリで申し訳ありません。今日初めてタウンミーティング参加させていただきました明神地区の参加者 16 と申します。素晴らしい話たくさん聞かせていただいて、何か小さな質問になってしまうかもしれないんですけども、私地域の知り合いの方から、明神に一本走っている市道があるわけなんですけど、その側溝の蓋がですね、ガタガタうるさいと何度も言われてて、4年ぐらい前にも一度、市にかけ合って、直していただいて、2年ぐらい前にもまた話があって、直ったと思うんですが、今回、早速またその方から、また音がしてるんだっていう風に言われまして、道路管理課の方にはもう既にお話をして、今週見ていただける形になってるかと思うんですが、あの辺の道路のこういう感じで、結構費用がかかるんじゃないかなと思ってまして、毎回毎回。つくば市全体で見た場合でも、相当な手間がかかっているのかなと思うんですが、恒久的な、なんかこう、処置っていうのは、お考えなのか、そこだけちょっと聞きたいなと

思いまして。

●市長

恒久的な処置をもちろんする工法はありますが、たまに本当にそこまで工事しちゃって少し水が抜けるようになってるようなタイプのものはありますけど、それはもちろん、全部やると莫大なお金がかかりますので、ただ、何度も同じ、さっきもお話ありました、何度も同じようなところで、結局1年2年経ったらすぐガタガタしちゃうようじゃ、ちょっとね。そういうところは少し対応しなくちゃいけないかなとは思いますが。道路管理課にちょっとどんな状況か確認をしてみますので、市全体をとというのはなかなか大変なんですけど、特に、やっぱひどい箇所って決まっていますので、そういうところは、考えなくちゃいけないかなと。

○参加者 16

そうですね、必ずなる場所って大体決まっていますので、そこを、水平をきちっととって、しっかりと工事するとか、という形でもいいかと思っておりますので御検討よろしくお願いします。

○参加者 17

時間がないところすみません。高崎かな、あそこで、幼稚園か保育園というのありましたよね。今閉鎖されて、空き地になってます。あそこをこれからどういうふうに活用されるのかなということをずっと考えてたんです。それで一つだけ大変なことでしょうけども、こんなことやってくれないかな、ということだけ話して終わります。六斗の森で、地区の皆さんがバーベキューをしながら楽しんでいく場所だったんです。ところが今はそれできないですね。キャンプしないといけないし。前と違って料金が高くなったということもあります。そこで、町の真ん中にバーベキューできるところがあればいいのになあ、というのは、高見原は人口増えてます。子供もいます。年寄りもおります。高崎もそうです。それから城山もそう。歩いて来れる距離だから、そこにそういうものあればいいなと思っただけです。以上です。

●市長

ありがとうございます。バーベキュー、そんな高くなったかな。はい、なるほどですね。まだ、跡地は決まっていないですね。決まってないよね、はい。御提案いただいたことは、ちょっと、確かにたまり場的には、地域の皆さんが、臭いとかうるさいとかってのがなければ、いやほんと、常にたまり場をいろんな場所

に作りたいと思ってるんで、跡地利用決まっちゃったらあれですけど。少なくともね、なんか暫定的にそんなのやってみたら楽しい気がしますよね。ちょっと考えてみたいと思います。また相談させてください。